

文部科学省物品・役務等契約監視委員会（第32回）議事概要

開催日及び場所	平成27年10月23日（金） 文部科学省 会計課会議室	
出席委員 (敬称略)	○委員長 有川 博（日本大学 総合科学研究所 教授） ○委員 田辺 孝二（東京工業大学大学院教授） 松浦 亨（北海道大学病院 病院長補佐（病院経営・情報管理担当）、臨床教授） 和田 義博（公認会計士）	
審議対象期間		
個別審査案件	10 件	○議 事 (1) 平成27年度1 四半期の物品・役務等契約に係る審査 (2) その他
一般競争入札方式	4 件	
最低価格方式	1 件	
総合評価方式	3 件	
指名競争入札方式	0 件	
最低価格方式	0 件	
総合評価方式	0 件	
随意契約方式	6 件	
企画競争	5 件	
公 募	0 件	
競争性のない随意契約	1 件	
不落随意契約	0 件	
事前審査案件	0 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	審議の過程で検討していただきたいと申し上げた点については、適切に対応をお願いすることとし、全体としては問題なく処理されている。	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>平成 27 年度第 1 四半期の物品・役務等契約に係る審査について（以下、審査順）</p> <p>① 免許更新制高度化のための調査研究事業の委託</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】 (初等中等教育局教職員課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画競争を省内のどのような手続き又はルールに基づいて実施したか。 ・審査する委員が少ないとバイアスが掛かって、評価点が誰かの点数に引っ張られるというケースが多々あるので、委員増員の検討はしないのか。 ・応募の結果、1 者入札であった理由をどう分析しているか。 <p>② 音声教材の効率的な製作方法等に関する調査研究</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】 (初等中等教育局教科書課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この調査研究は、臨床心理の分野の専門知識が必要と思われるが、その分野における専門家を 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に会計課で会計業務マニュアルを掲示板に示し、その中に企画競争マニュアルや一般競争のやり方を提示している。審査は、審査基準を定めて、それに基づいて評価している。 ・今後検討していきたい。 ・本事業による開発スケジュールと元々の応募対象機関側のスケジュールとの兼ね合いが合わず公募を見送った法人もあると聞いている。 ・委員は皆、特別支援教育という広い意味においては専門家だが、臨床心理そのものの専門

<p>審査委員としてきちんと選定しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「効率的に作る」というテーマの本調査研究において、落札者の提案内容が、制作それ自体が主目的となっていないか。 ・各評価委員の評価結果について、評価が二分するような極端な結果が出た場合に、内部でその評価結果を検証できるような仕組みづくりを徹底していただきたい。 <p>③ コーチング・イノベーション推進事業（コート育成のための「モデル・コア・カリキュラム」の作成）</p> <p style="text-align: center;">【随意契約（企画競争方式）】</p> <p style="text-align: center;">（スポーツ庁参事官（民間スポーツ担当）付）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ1者しか応募がなかったと分析しているか。 ・事業者が企画提案時に出した見積もり額よりも契約段階の金額が増加した理由は何か。 ・額の確定の清算の際に、実際報告された通りの金額が使われたかどうかだけでなく、本当に必要なものに使っているか、中身の合理性も合わせてきちんとチェックをしてもらいたい。 ・契約した法人には、今回対象となっている委託事業とは別に類似と思われる事業を実施しているようだが、二つの棲み分けや目的の区別がきちんとつくようになっているか。 	<p>家かと言われると、そうとは言い切れない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証研究ということで、制作方法の研究とともに制作についても行うこととしているため定量的な成果物も求めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・公募期間も大分長めにとったが、結果として1者しか出てこなかった。 ・審査の段階で、審査委員からの指摘があり、提案内容をより充実させるための修正を行った結果、金額が増加した。 ・ご指摘の点については、経費面でも全く切り離されており、適切に管理されている。
--	---

④ 放射線利用技術等国際交流（専門家交流）

【一般競争入札（総合評価落札方式）】

（研究開発局研究開発戦略官付（核融合・原子力国際協力担当））

- ・ 本件の予定価格について、どのように検討して設定したか。
- ・ 前回実績を勘案して見積もった予定価格（案）が予算内に収まらなかった点に関し、その見積もり方法についてのさらなる検討が必要ではないか。

⑤ 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）

第1作業部会に関する国内外の研究動向の調査等

【一般競争入札（総合評価落札方式）】

（研究開発局環境エネルギー課）

- ・ 落札者は平成24年度から、この事業を受託しているにも関わらず、開札を何度もやり直しを行っている理由は何か。
- ・ 派遣社員の単価設定について、単に平均的な単価を設定するのではなく、派遣職員に求める技術レベルについての根拠をもっと明確にするべきではないか。

⑥ 我が国大学の研究経営システム確立に向けた国内が動向に関する基礎的調査

【一般競争入札（総合評価落札方式）】

（科学技術・学術政策局産業連携・地域支援課）

- ・ 落札者と他者とで技術点に大きく差がついたの

- ・ 平成25年度に実施した同一事業の当時の実績等を勘案しながら、今回提出された見積もり額と対比して設定を行った。

- ・ ご指摘を受け、次年度以降に向けて見直していきたい。

- ・ 最新の市場価格や過年度分の実績等との対比も踏まえて設定した予定価格と応札者の入札金額との差がなかなか埋まらなかったのが要因である。

- ・ ご指摘を踏まえ、今後はより合理的な設定となるよう、検討させていただきたい。

- ・ 落札者は提案の時点で、最終的な調査結果、

<p>はどのような理由か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者が提案してきた内容の中に総合評価を審査する関係者が含まれている場合は、その審査から外れてもらうということを徹底してもらいたい。 <p>⑦ 大学における公共獣医事教育推進委託事業 【随意契約（企画競争方式）】 （高等教育局専門教育課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業金額に対する評価項目がないが、見積もり額の妥当性はどのようにして検証されたか。 ・評価委員の指摘した課題・要望は、きちんと反映された上で契約が結ばれているか。 <p>⑧ 工芸技術記録映画「佐賀錦ー古賀フミのわざー」製作業務 【競争性のない随意契約】 （文化庁文化財部伝統文化課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜこの事業の契約方法に随意契約が採用されているのか。 	<p>分析結果あるいはモデルといったものに対してある程度の仮説を既に立てており、そこに向けての調査業務の実施方針が審査で高く評価されたためと分析している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めて会計課で整理して、各局に周知を徹底したい。 ・選定された者から提出のあった業務計画書や参考見積書などを、委託要綱で定める経費の使用方法、整合性や妥当性と照らし合わせながら、市場価格や過去の同様な事例等との比較検討も行った上で契約を結んでいる。 ・予定価格調書や企画提案書を出してもらうが、その後、具体的な積算や根拠を改めて出してもらうので、その際に委員からの指摘事項は適切に反映されている。 ・元々、前年度に企画競争で選ばれたが、出演者の体調不良により完成を今年度に繰り越すこととなった。加えて、著作権法の著作権者人格権との兼ね合いで、制作中のシナリオ等といった著作物の使用許諾の問題もあり、業務遂行のため、前年度と同様の事業者と随意契
---	---

⑨ 土曜授業推進事業

【随意契約（企画競争方式）】
（初等中等教育局教育課程課）

- ・評価点数が低いところも採用しているが、どうしてか。
- ・昨年度から開始した事業で、昨年度は35地域を想定し採択が28地域、今年度は32地域を想定し採択（予定含む）が24地域とのことだが、今後もこの事業を継続するとすれば、どのような方向性を検討しているか。
- ・今後、この事業に手を挙げる機関を増やしていきたいということであれば、しっかりとこの事業のフォローアップを行っていくよう検討されたい。

⑩ 燃料電池自動車1台の交換

【一般競争入札（最低価格落札方式）】
（大臣官房会計課）

- ・閣議決定後の経緯を経て、全府省庁で燃料自動車を公用車に導入するとすれば、全府省庁が横並びで3月のあたりで公告することとなり、どうしても1者入札にならざるを得なくなるのではないか。

【総括】

- ・審議の過程で検討していただきたいと申し上げた点については、適切に対応をお願いすることとし、全体としては問題なく処理されている。

約を行った。

- ・評価の時点で評価点の低かったところについては、評価時に指摘した課題点等が改善された際には契約するという形をとった。
- ・今回の採用結果を踏まえ、来年度以降については、より規模を抑えた形で実施することを検討している。

- ・中には導入に慎重な省庁もあり、調達時期は各省庁でずれる結果となった。